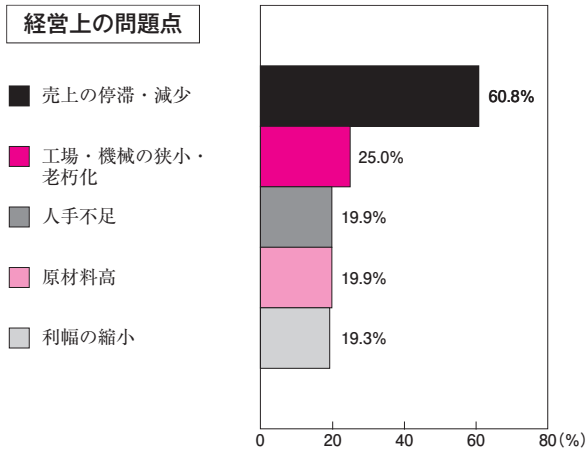


業況はやや改善、来期もやや改善の見通し

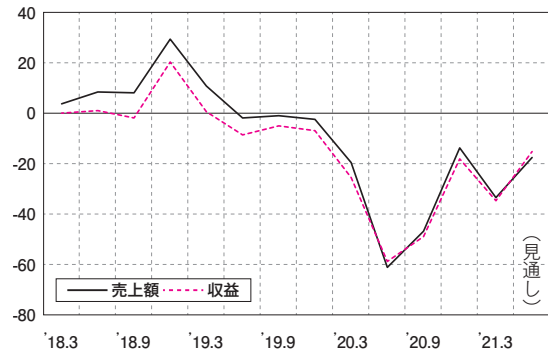
売上額D Iは▲33.5、収益D Iは▲34.7でともに大幅に悪化しました。資金繰りD Iは▲7.9でやや改善しました。価格は原材料価格D Iが26.1で上昇、販売価格D Iは▲8.5で横ばいでした。来期は、売上額D I、収益D Iともに改善の見通しです。価格は原材料価格D I、販売価格D Iともにやや上昇の見通しです。業況D Iは▲44.4でやや改善。来期もやや改善の見通しです。

前期	今期	見通し

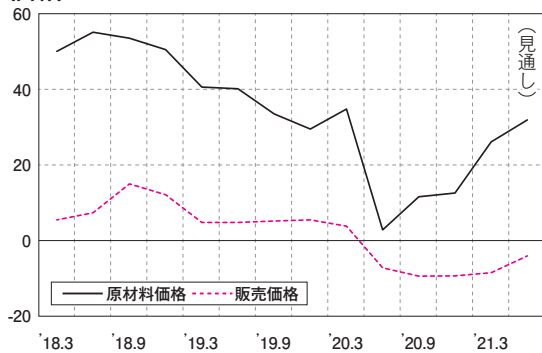
経営上の問題点



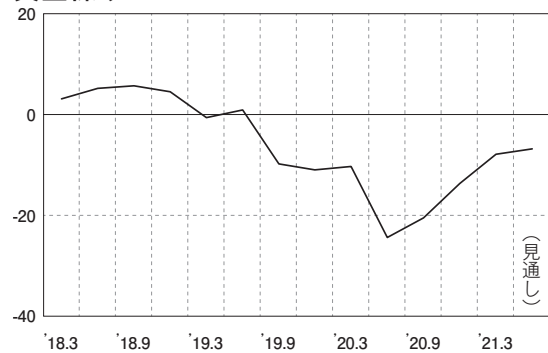
売上額・収益D I (前期比)



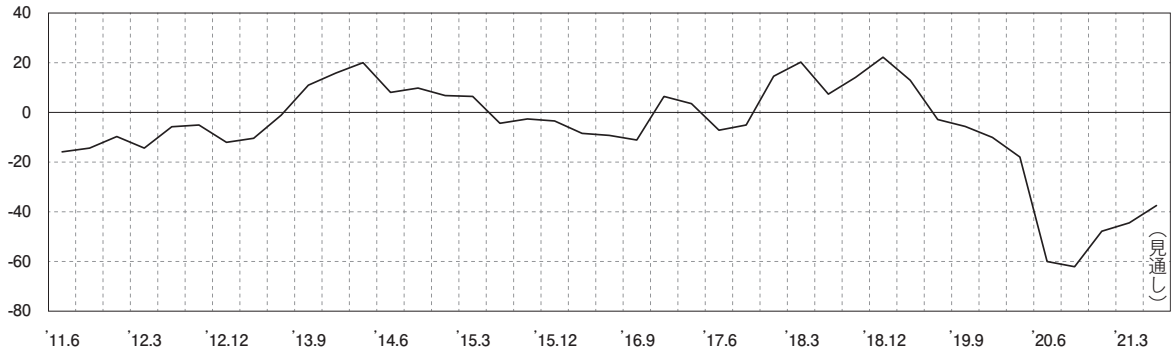
価格D I



資金繰りD I



10年間の推移 (業況D I)



お客様の声

・コロナが終息しても生活様式が変わってしまっているため新しい需要をいち早く察知して対応していかなければならないと考えています。  
(堺市 食品海苔製造業)

・コロナの影響により受注先の投資の先送りが顕在化しつつあり、売上の減少が懸念される。  
(伊丹市 車両用電送機・ソアクトル製造業)